

先生、もっと  
おはなし聞いて

Vol.2

# 連合いわて クラシノソコアゲ 長時間労働是正 キャンペーン



もっとじっくり  
子どもたちと  
すごしたい

## 教職員の超勤・多忙化解消を考えるシンポジウム

学校での働き方改革を通して  
教職員と子どもの  
ゆたかな教育環境づくりを

**入場無料** どなたでもお気軽に  
ご参加ください

基調講演講師 寺脇 研氏

昭和27(1952)年7月13日福岡県生まれ 55歳  
昭和50(1975)年3月東京大学法学部卒業  
同年4月 文部省(当時)入省  
職業教育課長、広島県教育長、医学教育課長、  
生涯学習振興課長、政策課長、  
大臣官房審議官(生涯学習政策担当)、  
文化庁文化部長などを歴任。  
平成18(2006)年11月退官



現在 京都造形芸術大学教授、映画評論家、NPO教育支援協会チーフ・コー  
ディネーター、ジャパンフィルムコミッション理事長

高校時代から「キネマ旬報」誌に映画評を投稿、若い読者の投稿欄の常連で  
あった。75年からはさまざまな映画雑誌に求められ執筆するようになる。現在  
「キネマ旬報」でREVIEW欄を担当するなどさまざまなメディアに映画評を書  
く。著書に『なぜ学校に行かせるの?』(日本経済新聞社)、『中学生を救う30の  
方法』(講談社)、『どうする学力低下』(PHP研究所 共著)、『21世紀の学校は  
こうなる』(新潮OH!文庫)、『格差時代を生きぬく教育』(ユビキタ・スタジオ)、  
『それでも、ゆとり教育は間違っていない』(扶桑社)、『さらばゆとり教育』(光文  
社ペーパーバック)、『韓国映画ベスト100』(朝日新書)、『官僚批判』(講談社)  
『憲法ってこういうものだったのか!』(ユビキタスタジオ)、『官僚批判』(講談社)  
『100マス計算でバカになる』(光文社)、『コンクリートから子どもたちへ』(講談  
社)、『官僚』(アスコム)など

日時

**2017年7月9日(日)**  
13:30~16:30(受付開始13:00~)

会場

**盛岡市民文化ホール**  
(大ホール)  
〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅前西通二丁目9番1号  
TEL.019-621-5100 FAX.019-621-5101

お問い合わせ

**岩手県教職員組合**

〒020-0024

岩手県盛岡市菜園一丁目11-3 第2橋ビル3階

TEL. 019-623-3305 FAX.019-653-5434

E-Mail:iwakyoso@poplar.ocn.ne.jp

主催 連合岩手、平和環境岩手県センター、岩手友愛会、岩手県教職員組合、岩手県高等学校教職員組合  
後援 岩手労働局、岩手県、岩手県人事委員会、岩手県教育委員会、各市町村、各市町村教育委員会、岩手県小学校長会、岩手県中学校長会、  
岩手県高等学校長協会、岩手県経営者協会、岩手県PTA連合会、岩手県高等学校PTA連合会、マスコミ各社